

ワンデレス、三者会議を改善

年度末の設計変更増加控え

「施工効率向上プロジェクト推進期間」

国土交通省は、24日から12月末までを「施工効率向上プロジェクト推進期間」とし、直轄工事で実施している「ワンデレスボンス」や三者会議、設計変更審査会の改善などに取り組む。会議の定例化や設計変更審査会の現場での開催などを期間中の重点方針とする。工期末が近くなることで設計変更が増える年度末を控えるに当たって、設計変更手続きなどをより円滑化して一層の施工効率化を図る。

国土交通省、24日から取組み

「施工効率向上プロジェクト推進期間」は、2008年度に実施した「設計変更推進月間」の取り組みの対象を拡大するもの。重点方針は、▽三者会議、ワンデレスボンス、設計変更審査会の対象拡大▽会議の定例化やASP（アプリケーション・サービス・プロバイダー）などの活用による効率化▽現場での設計変更審査会、三者会議の開催を一部工

「設計変更推進月間」で試行▽会議資料の簡素化▽決定事項明確化のための会議録作成▽設計変更審査会などで請負者が書類を作成する際に「設計図書の見直し」の範囲を超えると判断される場合は必要な費用を設計変更対象とする▽3億円以上の本官工事の一部で、整備局と事務所をつないだテレビ会議による設計変更審査会などの開催を試行――の7点とした。

受発注者のコミュニケーション

換会でも設計変更の円滑化を求める意見が多かった。こうしたことから、各取り組みを推進するとともに、改善策を重点方針に設定し、推進期間での改善を図る。

09年度は、発注者と設計者、施工者が工事着手前に設計思想の伝達や情報共有を進める。三者会議を重要構造物工事の象を拡大するようにして、工事を全工事それぞれ実施して

アンケートでは、設計変更や三者会議に当たって発注者や現場状況を把握していないとの意見や、会議の日程調整に手間取る、書類作成に時間がかかるといった改善要望があった。また、日本土木工業協会と地方整備局との意見交